

酷暑を乗り切るため 出穂前の追肥と、飽水管理を徹底!

- ・ 連日の高温で、引き続き多くのほ場で葉色低下が続いています。
- ・ コシヒカ리의出穂期は8月6日頃(平年並)の見込みですが、ほ場間やほ場内で出穂のバラつきが考えられます。
- ・ 気象庁では、8月の気温はかなり高いと予報しています。

1 7月30日現在のコシヒカリ生育状況 (拠点12地点平均、移植日平均5月10日)

葉色: 淡 (一部でかなりの葉色低下がみられる)

区 分	本 年 値	目 標 差	前年同期 (9 地点平均)
葉色 (SPAD)	28.9	-4.1	32.9

2 コシヒカリの管理ポイント

出穂期以降高温が続き、栄養不足の状態に登熟すると、収量や品質が低下します。ただちに葉色を確認し、出穂前の追肥を検討しましょう。

(1) 一発肥料の場合: 葉色低下で追肥を実施

葉色を確認し SPAD 値 32 以下 の場合は、出穂期 6～3 日前の時期に追肥する。

(2) 分施肥体系の場合: 3回目の穂肥を検討

2 回目の穂肥後も葉色が低い (SPAD 値 32 以下) 場合は、出穂期 3 日前までに 3 回目の穂肥を施用する。

- 葉色、施肥量の判断に迷う場合は、JA や普及センターに御相談ください。
減減栽培で化学窒素肥料を使用する場合は、基準超過に御注意ください。

JA佐渡各営農窓口で葉緑素計 (SPAD) を貸出中! 葉色を確認しましょう!

3 水管理

- ・ 出穂期から 25 日間は飽水管理等を継続し、稲の水分供給を図る。
- ・ 異常高温や強風・フェーン時は、一時的に水をためるなど土壌が乾燥しないよう注意する。ただし、長期湛水は根腐れにつながるので、異常高温・フェーンが収まったら早めに飽水管理等に移行する。

フェーン・異常高温緊急情報第1号発表(7/30～8/4 高温・乾燥のおそれ)

- ・ 大切な水資源を地域全体で無駄なく有効に使用する。(こまめな見回りを行い、ほ場に水が行き渡ったら速やかに水口を閉める等。)

農作業時はこまめな水分補給・休憩で熱中症を予防しましょう